

担当教員授業題目	生物科学野外実習 (静岡大学)				担当教員	徳岡 徹	
英文授業名	Exercise in Field Biology				副担当教員	木寄 暁子	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	集中	対象学年	3
授業形態	実習	備考	計5日(富士宮口五合目1泊・天城湯ヶ島3泊)				
<p>(1) 授業のねらい</p> <p>野外での生物の生き方を学ぶ。(キーワード: 富士山、伊豆半島、照葉樹林、亜高山帯、高山植物、ブナ林、海岸植物)</p> <p>(2) 授業の概要</p> <p>静岡大学周辺には、深海から高山まで様々な自然現象が存在している。この実習は、できるだけ多くの自然環境に触れ、多様な生物の生活を観察・記録し、環境と生物との関係をより深く理解することを目的としている。フィールドは、主として富士山と伊豆半島天城山を対象とする。実習施設として理学部附属の天城湯ヶ島フィールドセミナーハウスを利用する。セミナーハウスでは植物分類学実習として、採取・標本の作成を行う。また、植物の形態を詳しく知るため、顕微鏡を用いた実験も行う。</p> <p>(3) 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 富士山の山地林(スギ・ヒノキ林、照葉樹林) 富士山の夏緑林(ブナ林、カエデ林) 				<p>(授業計画の続き)</p> <ol style="list-style-type: none"> 富士山の亜高山帯林(シラビソ林、コメツガ林) 富士山の高山植物群落 天城山の照葉樹林 天城山のブナ林 伊豆半島の温暖帯林 中伊豆地域の帰化植物 伊豆半島の海岸植生(ビャクシン林) 沼津の千本松原 <p>(4) 成績評価の方法</p> <p>実習終了後のレポートで評価する。</p> <p>(5) 履修上の注意</p> <p>植物系統分類学、生態学などの授業を受けていることが望ましい。</p> <p>(6) 質問、相談への対応</p> <p>事前・事後の質問・相談は電子メールで受け付ける。</p> <p>アドレス ; sttokuo@ipc.shizuoka.ac.jp (徳岡)</p>			
【教科書】 テキストあり(配布)				【参考書】 各種植物図鑑			